

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公表番号】特表2014-511229(P2014-511229A)

【公表日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【年通号数】公開・登録公報2014-025

【出願番号】特願2013-553627(P2013-553627)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/52 (2006.01)

A 6 1 F 2/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/52

A 6 1 F 2/12

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月2日(2014.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者の身体の1つの領域における患者の軟組織を膨張した状態に維持するための装置において、

第1の提供モードと、第2の保持モードとの間で移行するように構成された受動的なステントを備え、該受動的なステントは、前記第1の提供モードにおいて患者の身体領域の形状に従い、前記第2の保持モードにおいては前記患者の身体領域は前記受動的なステントの形状に従い、前記受動的なステントは、第2の保持モードにおいて、患者の軟組織をさらに膨張させることなく該患者の軟組織を膨張した状態に維持することを特徴とする、装置。

【請求項2】

前記軟組織は、乳房組織を含み、前記患者の身体領域は、乳房を含む、請求項1記載の装置。

【請求項3】

前記受動的なステントは、硬化性ポリマから形成された層を有しており、硬化性の前記層は、硬化すると柔軟性が低下するように構成されている、請求項1記載の装置。

【請求項4】

前記受動的なステントは、空気に曝されたときに前記第1の提供モードと前記第2の保持モードとの間で移行するように構成されている、請求項1記載の装置。

【請求項5】

前記受動的なステントは、水に曝されたときに前記第1の提供モードと前記第2の保持モードとの間で移行するように構成されている、請求項1記載の装置。

【請求項6】

前記受動的なステントは、温度に曝されたときに前記第1の提供モードと前記第2の保持モードとの間で移行するように構成されている、請求項1記載の装置。

【請求項7】

前記受動的なステントは、UV放射に曝されたときに前記第1の提供モードと前記第2の保持モードとの間で移行するように構成されている、請求項1記載の装置。

【請求項 8】

前記受動的なステントは、触媒に曝されたときに前記第1の提供モードと前記第2の保持モードとの間で移行するように構成されている、請求項1記載の装置。

【請求項 9】

前記受動的なステントは、前記患者の身体領域と接触するように構成された少なくとも1つの表面上の接着剤である、請求項1記載の装置。

【請求項 10】

前記受動的なステントは、前記患者の身体領域と接触しあつ前記受動的なステントを前記患者の身体領域に固定するように構成された接着剤層を含む、請求項1記載の装置。

【請求項 11】

硬化性の層と、圧縮層とをさらに備え、該圧縮層は、変形可能でありかつ前記接着剤層と前記硬化性の層との間に配置されている、請求項10記載の装置。

【請求項 12】

前記接着剤層は、生体適合性である、請求項10記載の装置。

【請求項 13】

前記受動的なステントは、硬化性の層と、中間層とを有し、該中間層は、前記硬化性の層と前記接着剤層とを結合している、請求項10記載の装置。

【請求項 14】

患者の乳房内の患者の軟組織を膨張した状態に維持するための受動的なステントにおいて、

患者の乳房に接触しあつ前記受動的なステントを患者の乳房に少なくとも部分的に付着させるように構成された接着剤層と、

構造層と、を備え、

前記受動的なステントは、第1の状態から第2の状態へ移行するように構成されており、前記第2の状態は前記第1の状態よりも展性でなく、

前記受動的なステントは、前記第2の状態において、前記患者の乳房組織をさらに膨張させることなく前記患者の乳房組織を膨張した状態に維持するように構成されていることを特徴とする、受動的なステント。

【請求項 15】

前記構造層は、前記受動的なステントが前記第1の状態にあるときに硬化せず、前記受動的なステントが前記第2の状態にあるときに硬化させられる硬化性ポリマから形成されている、請求項14記載の受動的なステント。

【請求項 16】

前記接着剤層と前記構造層との間に配置された中間層をさらに備え、該中間層は、前記接着剤層と前記構造層とを結合している、請求項15記載の受動的なステント。

【請求項 17】

取り外されたときに前記接着剤層を露出させ、取り付けられたときに前記接着剤層を覆うように構成された取外し可能なバッキングをさらに備える、請求項14記載の受動的なステント。

【請求項 18】

前記接着剤層と前記構造層との間に配置された圧縮可能層をさらに備える、請求項14記載の受動的なステント。

【請求項 19】

前記接着剤層と前記構造層との間に配置された通気性層をさらに備える、請求項14記載の受動的なステント。

【請求項 20】

患者の拡張された身体領域を膨張した状態に保持するための受動的なステントにおいて、

該受動的なステントを患者の拡張された身体領域に取り付けるように構成された第1の層と、

刺激に曝されたときに第1の状態と第2の状態との間で移行するように構成された第1層と、を備え、該第2の層は、前記第2の状態においてより柔軟ではなく、前記受動的なステントは、前記第2の層が前記第1の状態にあるときには患者の拡張させられた身体領域に実質的に従い、前記第2の層が前記第2の状態にあるときには前記患者の身体領域を膨張した状態に維持するように構成されていることを特徴とする、受動的なステント。

【請求項21】

前記身体領域は、患者の乳房を含む、請求項20記載の受動的なステント。

【請求項22】

前記第1の層は、接着剤層である、請求項20記載の受動的なステント。

【請求項23】

前記第2の層は、硬化性ポリマから形成されており、前記第2の層は、前記第1の状態から前記第2の状態へ移行するときに柔軟性が低下する、請求項20記載の受動的なステント。

【請求項24】

前記刺激は、空気である、請求項20記載の受動的なステント。

【請求項25】

前記刺激は、水である、請求項20記載の受動的なステント。

【請求項26】

前記刺激は、温度である、請求項20記載の受動的なステント。

【請求項27】

前記刺激は、UV放射である、請求項20記載の受動的なステント。

【請求項28】

前記刺激は、触媒である、請求項20記載の受動的なステント。